

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社 マスネットワーク	所在地：長野県松本市中条1-14
評価実施期間：平成29年8月1日～平成30年2月23日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050192 060861 060773 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成30年 1月現在）

事業所名：社会福祉法人 ジェイエー長野会 （施設名） 特別養護老人ホーム うつくしの里	種別：介護老人福祉施設 併設 短期入所生活介護
代表者氏名：理事長 油井 博一 （管理者氏名）施設長 小岩井 一博	定員（利用人数）： 短期入所生活介護 13名 53名
設置主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会 経営主体：社会福祉法人 ジェイエー長野会	開設（指定）年月日： 平成7年4月1日
所在地：〒390-0221 長野県松本市大字里山辺藤井910番地1	
電話番号：0263-39-2277	FAX番号：0263-39-2278
ホームページアドレス： www.jp-naganokai.or.jp/facilities/ringo/	
職員数	常勤職員：88名 非常勤職員 56名
専門職員	看護師 12名 介護福祉士 56名
	機能訓練士 1名 管理栄養士 2名
	介護支援専門員・生活相談員 16名
施設・設備 の概要	（居室数） 66床 （設備等）温泉、介助リフト、ナースコール 通所・訪問・居宅・包括の事業

3 理念・基本方針

I. 理念 1. 利用者（含家族）が自ら選んだ生活のあり方を支援します。 2. 利用者の生活の自立に向け利用者と共に努力します。 3. 利用者（含家族）の声を傾聴できる姿勢を持ち続けます。 4. 地域との交流を密にして、必要な情報交換等により、開かれた施設づくりをめざします。
II. 基本方針 1. 利用者が望む自立した生活を送るための支援をします。 2. 職員の資質向上に努めます。 3. 地域と連携して、地域と共にある施設を目指します。 4. リスク管理に努めます。 5. 利用者から選ばれる施設づくりと、経営基盤の強化を図ります。

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

<ul style="list-style-type: none">・天然温泉による入浴が利用者に好評である。・地域の保育園、小中学校、ボランティアとの交流。・理学療法士を配置し、利用者の機能維持と介護職員の資質向上に取り組んでいる。 また医療機関と連携して言語聴覚士や歯科衛生士が定期的に訪問し、経口維持、肺

炎の予防に取り組んでいる。

- ・介護する人にも介護される人にも優しい介護を目指している。利用者の重度化に伴い、リフト等利用者個々の状態に応じた福祉器具を用いて、安心・安全なケアを心掛けています。
- ・認知症の方の増加に伴い、O J T、OFF J Tの充実を図り、職員の資質の向上に努めている。センター方式を活用し、認知症になる以前の生活や日々の利用者の言葉から利用者にとっての「いいひと時、いい一日、よりよい暮らし」ができるよう取り組んでいる。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	4回目（平成26年度）
---------------	-------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○終末期の対応

看取り介護について、理念・目的・定義・指針を明確にし、マニュアルを整備して医師や医療機関と連携して取り組んでいる。終末期のケアに関して、職員が不安や心配なくケアができるように研修が行われている。精神的な面においても、担当職員等への配慮を行い、ケア終了後には、デスカンファレンスをエリア会議で実施して次のケアに活かしている。家族等に対しては、入所時に終末期について同意書をもっている。実際に終末期に入った時には医師の説明を受け、今後の方針について話し合い、施設でのターミナルケアの計画を立て同意を得ている。家族等への支援としては、希望や心配事への対応、身体的・精神的な負担の軽減を行い、希望があれば利用者の居室に宿泊して一緒に過ごすこともできるよう配慮をしている。その後も定期的に話し合いを行い、家族の気持ちに沿って支援をおこなっている。亡くなられた1年後には、手紙や写真を送りグリーンケアを行うなど、家族等と職員に対して、きめ細やかな配慮をして、終末期ケアを実践している。

○施設と地域とのかかわり

法人、ジェイエー長野会の理念「福祉サービスの提供と地域との交流を通じて、豊かで安心して暮らせる地域福祉の拠点としての機能発揮につとめます。」を受け施設の理念にも「地域との交流を密にして、必要な情報交換により、開かれた施設づくりを目指します。」と地域と施設との関係を明確にしている。災害時を想定した避難訓練には3つの自治会の協力を得られ夜間の訓練にも関わらず数十名の住民が協力している。施設側も非常事態のときのための水・食料の備蓄を地域住民の分も含めて3日分蓄えている。ボランティアの訪問も定着しており、週1回の喫茶とハモニカ演奏、朗読など、利用者の楽しみとなっている。

「うつくしの里だより」は、地域版も作成し、地域活動として介護方法や介護相談を提供することを伝えている。また、毎年開催するうつくし祭りは好評で、地域の人々との交流の場となっている。

◇特に改善する必要があると思う点

○一人ひとりの育成に向けた取り組み

職位毎の求められる人物像を設定し、目標管理シートや介護考課表など用いて職員一人ひとりの

目標管理を行い、上を目指す事ができる様チーフが支援している。今後、ジェイエー長野会としての目標管理制度の下、部門及び個々の職員目標管理シートを設定し、面接を行い進捗状況の確認や目標達成度の確認を行うなど、更にスキルアップを図り、職員の質の向上に向けた取組みを期待したい。

○環境について

建物の二階フロアは、医務室や介護・看護ステーション等を中心にして回りに居室があり、3つのエリアに分けて介護サービスが提供されている。広い廊下のところどころにソファを置き、くつろげるスペースができています。居室は1人から4人部屋となっており、4人部屋はカーテンで仕切られている。廊下の壁には、利用者の作品等が貼られ、暖かい雰囲気になるように配慮がされている。建物の構造面等の考慮もあるが、壁やひろばの装飾、居室の環境等見直され、さらに利用者にとって、くつろいで安心して暮らせる環境の整備が望まれる。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目(別添1)

内容評価項目(別添2)

8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合(別添3-2)

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

平成30年3月1日記載

今年度は、うつくしの里が平成7年4月に開設してから23年目となります。私達職員一同、うつくしの里の理念に沿って利用者の尊厳を基本に、安心して穏やかに自分らしく暮らしていただける生活環境づくりや、楽しみのある生活づくりを目指して施設運営を進めております。本年も継続して第三者評価を受け客観的な観点から再評価されることにより、自分達では気付かなかった課題や改善点を再確認することができました。

前回に続き良い評価結果を頂きましたが、職員が日頃積み重ねてきた努力が形になって現れたという思いで大変励みとなりました。特に良い点として、終末期ケアの実践、地域の人々との交流について評価していただいたことを嬉しく思います。更に質の高いサービスを提供していくために、職員一人ひとりの資質の向上が重要だと考えております。専門職としてのスキルアップを図るため各職種で積極的に研修会・講習会に参加するなど、職員教育・人材育成に力を入れてまいります。また、法人理念の一つでもある、福祉サービスの提供と地域との交流を通じて、豊かで安心して暮らせる地域福祉の拠点としての機能発揮につとめ、地域に信頼され貢献できる施設運営に取り組めます。

第三者評価の評価結果を公表することにより、情報の提供と健全な施設運営の透明性の確保を図ります。

この度、第三者評価を受けるに当たり、株式会社マスネットワークのスタッフの皆様には、現状に即した的確な評価や貴重なアドバイスをして頂きました事に感謝申し上げます。また、ご指摘頂いた事項についても真摯に受け止め今後の事業運営にしっかり反映してまいります。